

イスタ・ビエンナーレ
サイエンス・アートの饗宴 **3**

[量子観想]

2019年2月25日[月]~3月2日[土]

11:30~19:30 最終日は16:30まで

オープニングレセプション 2月25日[月]17:00~

ギャラリートーク 2月25日[月]18:00~



NPO 法人 科学芸術学際研究所 ISTA
埼玉県朝霞市北原 2-5-28 鈴木第2ビル 211号室
TEL/FAX: 048-456-7271
mail ista_office@yahoo.co.jp
URL <https://www.npo-ista.org>

NPO 法人 Interdisciplinary Institute of Science, Technology and Art
科学芸術学際研究所
ista
<http://www.npo-ista.org/>



慶 **いりや画廊**
〒110-0014 東京都台東区北上野 2-30-2
Tel/Fax 03-6802-8122
東京メトロ日比谷線入谷駅1番出口すぐ



はじめに

イスタとは、本展示を主催する NPO 法人：科学芸術学際研究所の英語名の省略形「ISTA」をカタカナで表記したものです。埼玉県朝霞市に本部を置き、科学・芸術・遊びという人間の文化の3要素を互いに橋渡しするような活動をしています。一方、「サイエンス・アート」という言葉は、科学者と芸術家が協力して制作する作品、あるいはサイエンスマインド（科学する心）に基づいて制作される作品を意味します。イスタは、4年前の

2015年3月に、いりや画廊で同様の表題の展示をおこないました。今回は、その第3回です。

上記の副題「量子観想」という言葉は、近代の科学的な成果である「量子力学」と、アーティストの行為を暗示する「観想」(想念を直視する)を組み合わせたものです。

今回の出展者は、イスタの会員、およびイスタの趣旨に賛同する非会員からなっています。

イスタ理事長 高木 隆司

出展作品(作家名 50音順)

1. 黄金四面体と黄金六面体で構成された平行六面体

石原 正三

平行六面体と、それを構成する2つの黄金四面体と1つの黄金八面体。



2. 樹状Ⅲ

大内 公公

樹状とは、可能性世界が紡ぎ出す構造の姿を示します。展示作品は、無機分子が分散と凝集によって作り出す偏った分布の姿です。アニオンとカチオンが描くフラクタル模様を楽しんでください。



3. 光絵「朝日・夕日」

奥田 ナオト

ソーラーライトで光る絵画



4. 有機物×有機物、無機物×無機物

かみむらみどり

科学的な視点を取り入れたアート作品。人工物と自然物を混在させた組作品。



5. 二枚舌

柴田 美千里

偏光フィルムを使った光を素材とした作品とシリコン製オブジェ。



6. 芭蕉一光と闇

高木 隆司・山岡 久俊

芭蕉の俳句4句に、山岡によるCGと高木による書と絵を組み合わせた作品。高木がフォトショップを用いて構成した。



7. 柔らかな光と陰:ゾーンプレート写真の世界

竹田 辰興

通常の写真ではむしろ欠点とされる「背景光の存在」、「色収差の存在」が著しいゾーンプレート写真においてこれらの特徴を積極的に利用して魅力的な写真作品を作る。



8. 悪魔・樹状分岐円錐・無理数の連鶴

前川 淳

正方形一枚折りの完成品と展開図。正方形一枚折りの完成品と展開図。長方形に切り込みを入れて連鶴を折り、無理数を表現した作品の完成品と展開図、作品は ϕ , e , π , $\sqrt{2+1}$ の4点。



9. ゆうゆうゆう(有・由・遊)

水越 のぶまさ

未来を作るには大きなエネルギー今はそんな語に疑問が。僅かなエネルギーで走る、飛ぶ、泳ぐ生き物たち。科学は今、自然から学ぶ。私も想像を通し、学び、楽しむ。



10. 減法混色グラデーション立方体

宮崎 桂一

無垢の1辺20cmの透明立方体の3表面をそれぞれシアンとマゼンタ、イエローの3原色に着色すると、内部全反射による減法混色が発生し、美しい色相グラデーションを生み出す。



11. 架空の遠心波によるリアルの開発

吉川 信雄

この共振アートは、ゴム(遠心波)を装着することにより、自由にあやとりをすることができます。

